

# 編集後記

愛媛県総合科学博物館が開館して30年が経ちました。その間に、施設は数々の大きな出来事を経験しています。愛媛県立博物館の閉館に伴い、ニホンカワウソのはく製などの貴重な資料が当館に移管されました。指定管理者制度が導入され、県と民間二人三脚での運営に変わりました。プラネタリウムをデジタル映像と併せて投影できるよう更新し、自然館の目玉展示だった恐竜ロボットを子どもたちと一緒に体操するようモデルチェンジし、さらに人気を集めています。コロナウイルス感染症拡大防止で長期間の休館なども体験しました。

学芸員の多くは開館当初からのスタッフで、この博物館と一緒に成長してきました。記念誌編集は、30年の懐かしい思い出に浸りながらの作業となりました。開館当初私たちは経験も浅く、他館から展示や資料の扱いなど、貴重なノウハウを教えてもらいつつ業務に励みました。事業に参加された皆様からの御意見は懸命にフィードバックし、寄贈や調査、教育活動などで多くの方にお世話になり、少しずつ経験を重ね、成長できた幸多き30年だったと実感しています。皆様のおかげで資料や展示は充実し、魅力的な事業をより多く実現できるようになりました。私たち博物館の職員にとって、幾多の活動を通じて皆様と触れ合えたことが一番の宝であったと思います。

令和5年4月に改正博物館法が施行され、博物館には新しい機能が求められています。様々な主体と相互に連携・協力しながら、地域の教育、学術、文化の振興、文化観光、その他の活動を推進し、地域の活力向上に寄与するよう努めます。VR、AIなどのデジタル技術の発達と、DXの推進で、博物館に行かなくても高品質な情報が得られるなど、30年前には思いもよらない新しいスタイルが訪れます。それも取り入れつつ、私たちは皆様との触れ合いを大切に、「博物館に実際に行く」選択を受け続け、博物館資料を未来に継承するよう、今後とも活動していきたいと考えています。

最後に、30年にわたりお世話になりました多くの皆様へ職員・学芸員一同御礼を申し上げますとともに、これからも新しい博物館の魅力を発信し、愛される博物館を目指し、精進していきますので、一層の応援をよろしくお願い申し上げます。

令和7年3月  
博物館職員・学芸員一同

## 愛媛県総合科学博物館開館30周年記念誌

発行日 令和7年3月31日

編集・発行 愛媛県総合科学博物館  
〒792-0060  
愛媛県新居浜市大生院2133-2  
TEL 0897-40-4100  
FAX 0897-40-4101

印刷所 株式会社ハラプレックス  
愛媛県今治市喜田村 1-2-1